

令和 4 年

寒川町教育委員会会議録

1 月 定 例 会

日 時：令和4年1月17日（月）

午後1時30分 ～ 午後2時39分

場 所：東分庁舎第1会議室

出席者

<教育委員会>

教育長		大 澤 文 雄
教育委員	1 番	大 川 勝 徳
	2 番	小 川 雅 子
	3 番	大 関 博 之
	4 番	布 谷 あけみ

<事務局職員>

教育次長	内 田 武 秀
教育政策課長	高 橋 陽 一
学校教育課長	小 島 康 義
教育政策課専任主幹	黄 木 悟
（兼）学校教育課専任主幹	
教育施設給食課長	水 越 豊
町民センター館長	別 府 拓 自
総合図書館長	岩 渕 麻 子
書記	尾 畑 浩 司

寒川町教育委員会定例会（１月）議事日程

1. 開 会
2. 前回会議録の承認
3. 会議録署名委員の指名
大川委員 大関委員
4. 教育長報告
5. 社会教育施設報告
 - ①公民館報告（資料１）
 - ②総合図書館報告（資料２）
6. 委員報告
7. 議 事
8. 協 議
9. その他
 - ①TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京都英語村）公募バスツアーの進捗について（資料３）
10. 閉 会

1. 開 会

(大澤教育長)

ただいまの出席者は5名です。定足数に達しておりますので、これより寒川町教育委員会1月定例会を開会します。

本日の会議日程はお手元に配付したとおりです。

2. 前回会議録の承認

(大澤教育長)

前回定例会の会議録は、先ほど署名委員の署名がありましたので、承認されました。

3. 会議録署名委員の指名

(大澤教育長)

また、本日の会議録署名委員は、大川委員と大関委員にお願いいたします。よろしくをお願いします。

<「はい」の声>

4. 教育長報告

(大澤教育長)

それでは、次に、私から教育長報告をいたします。

まず1点目は新型コロナウイルスの感染状況について、2点目は学力向上について、3点目は外国語教育について、4点目はICT教育についてということで、いじめ・道徳規範意識の向上、特別支援教育については、まだ新学期が始まったばかりですので、今日は特に報告事項はございません。

それでは、まず1点目、新型コロナウイルスの感染状況についてでございますが、新型コロナウイルス感染症の第6波に突入しているという話ですが、学校でも感染者が増えてきました。そんなに遅くない時期にこの地区にもまん延防止等の措置が出されるのではないかなと思っております。

12月まではほとんど感染者がいなかったのですが、1月に入り、3学期が始まった先週は毎日のように教育委員会に感染報告が入ってきています。児童・生徒の直接的な感染報告はそれほど多くありませんが、ご家族が陽性結果となり、濃厚接触者になるため、登校を控えるというケースが多くなっています。また、教職員の中にも陽性になったり濃厚接触者になったりして出勤できないケースも出てきています。教職員が欠席するのは学校としてはかなり苦しい状態になるので、教育活動を継続するために、学校全体で力を合わせてこの

難局を乗り切ろうとしています。

教育活動そのものにも影響が出てきています。保健所の方からは、現状を緊急事態宣言が出ているとき並みに捉えてほしいというお話がありました。そこで、授業中の歌やリコーダー、調理実習などを控えるようにし、部活動も大会や練習試合を控えて、練習の在り方も感染防止に努めた形にできています。2学期後半は通常のエ育活動や校外学習などができていただけに残念でなりません。

今後も感染の広がりや止まらない現状が続くと思われます。各学校が感染対策をしっかりと取りながら教育活動を進めていくように指導していきたいと思ひます。

次に、学力向上についてでございますが、今年度も新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、各学年の学ぶべき内容を定着させるためのまとめの時期に入ってきました。2月から3月には各学年の学習内容がしっかりと身についたかどうかを測る基礎力定着度確認問題を全校全学年で実施します。現在、教育委員会と学校はその実施に向けて準備を進めているところです。

次に、外国語教育でございますが、以前11月に旭が丘中学校にFLT8人を集めて授業を行ったという報告をさせていただきましたが、その後、他の学校からもぜひやりたいという声が上がってきています。FLTとともに進める授業が定着してきていることを示すのはもちろんのこと、各学校の英語リーダーを中心に積極的な取組をしていこうとする前向きな思いを感じています。

最後になりますが、ICT教育でございます。タブレット端末の活用状況ですが、これまで中学校や小学校高学年における積極的な活用が進んできていましたが、2学期終盤からは小学校低学年でも活用が進んできています。

今年度、国のデジタル教科書実証実験を一之宮小・小谷小・旭が丘中の3校で受けています。タブレット端末にデジタル教科書を入れて授業で活用しているのですが、教科によって使い勝手が分かれているようです。英語のデジタル教科書は、音声や映像が英語のやり取りの形で提示できるので、使いやすいという報告を受けていますが、算数は授業中にすぐに教科書に書き込んだり、計算をしたりという場面があるので、従来の紙の教科書のほうが使いやすいという報告を受けています。

来年度も国の実証実験は続き、小学校高学年と中学校の全学年で英語と県から割り当てられたいくつかの教科でデジタル教科書の使用が求められる予定になっています。

私からは以上で報告を終わります。

何か質問ある方はお願いします。

小川委員。

(小川委員)

コロナが始まったばかりの頃は、学校が休校になった時に家での課題を先生方が出して、学力が落ちないようにと努力していたと思います。今回も学級閉

鎖とか、そのようなことも考えられますので、早め早めに学力の維持につながるような、落ちないような対策をしていただけているとは思いますが、タブレットの利用とかもあるのでしょうか。

(大澤教育長)

小島学校教育課長。

(学校教育課長)

これだけコロナが広がって、第6波ということで、先ほど教育長から報告がありましたように、感染者が増えています、また、お休みしている児童・生徒が増えてきている中であります。まだ学級閉鎖とか学校閉鎖という規模までには至っておりませんが、今小川委員がおっしゃったように、学びの保障としてタブレットの活用も考えております。

毎月のようにICT担当者会、教頭先生が出席している会議になりますが、そちらではそれぞれの学校が児童・生徒が持ち帰りをするのに対応できるよう準備を進めています。まだたくさんではないので、その場面に至っておりませんが、いつでも対応できるようにそうした準備を進めているところです。

以上です。

(小川委員)

ありがとうございます。小学校低学年では、まだ子どもたちに全部任せるところまでは至っていないようですので、なるべく学校で一生懸命使って、慣れて、家でも安全に使えることを望んでいます。

(大澤教育長)

令和2年の3月、4月、5月の3か月間、全国一斉に臨時休校になったわけですが、今後、文科省としては全国一斉の臨時休校は極力しないと思います。寒川町も今後の感染状況等によって学級閉鎖等はあるかと思いますが、町内8校一斉休校ということはないと思います。

よろしいですか。

(小川委員)

はい。

(大澤教育長)

他にいかがでしょうか。

大川委員。

(大川委員)

私も小川委員と全く同じような趣旨の意見ですが、子どもたちの活動

は、オミクロン株の感染拡大の心配で随分制約される部分があります。学校での活動も制約を受けますし、放課後の、あるいは家での活動も制約を受けるようになってしまいます。そうすると一番良いのが、一人一台の端末の活用がここで功を奏してくると思います。

今一番ネックになっているのが、各家庭でのインターネットの接続関係で非常に厳しいことであると思います。トンネルでいうと、右側からトンネルがうまく掘られてきているけれども、左側がもうちょっとうまく突き進んでくれると開通するというような感じです。

どうしたらそういうふうになるのかと自分なりに考えた時に、これはPRしていただくというのが一番良いと思います。今、学校は、これから学校評価の時期になります。保護者の皆さんにアンケートなどを取って、いろいろな意見をお伺いするという機会があると思います。そのようなときにICTの活用について、今の状況と、あるいは夢みたいなこともそこに書いていただくと、学校の先生方も一緒になってその道に進んでいけるという気がします。これは意見です。

一つ質問してよろしいでしょうか。

(大澤教育長)

どうぞ。

(大川委員)

ICTからはちょっと離れますが、私が校長のときに冬休みの時期とか、その近辺、大寒の時期が一番怖かったです。寒いので、水道管の破裂だとか水漏れ、あるいはコンクリートの剥離だとか、そういうのが出てきます。これはどうしようもない。どこの地区でもそうですが、特に寒い北風を受ける校舎です。それで地域の人も風から守られている部分もあります。学校の校舎で仕方ないとは思いますが、それでも子どもたちの安全を考えると少し心配です。その辺のことは今どうでしょうか。

(大澤教育長)

教育施設給食課が設置されてからは、そのようなことのないように万全の対策で取り組んでおります。もし、そういうことになった場合は、直ちに対応するようになっております。

水越課長に補足させます。

(教育施設給食課長)

非常に重責です。教育長からも指示が出ています。教育長から特に給食などが止まることのないようにという指示をいただいています。寒さ対策、特に水道管関係は、教育施設給食課が設置されてから何年かけて悪いところは大幅直しています。まだこれから冷え込むこともあるでしょうけど、今のところ凍

結による事故は今シーズン、多分出ないだろうとにらんでいます。ほかの箇所、特に亀裂について、亀裂に水が入って凍るということをおっしゃったと思いますけれども、問題のありそうなところについては、早目に手を打っています。

(大川委員)

分かりました。とてもうれしいお知らせです。学校、子どもたちを預かる立場では、私たちも非常にその部分が心配なところでしたので、今の課長からの話を伺って一安心いたしました。ぜひこれからも学校との連携を密に取って、よろしくお願いします。

先ほどの議題に戻りますけれども、学校からの報告の中で紙ベースのほうがいいというのがありました。確かにそうなのですが、これからの時代を背負う子どもたちというのは、電子ベース、紙ベース両方ともうまく使えるように育てほしいと思っておりますので、先ほども学校評価でお話しましたが、アンケートだとか、そういうものをうまく活用していただいて、うまく進めるようにしていただけたらと思います。

以上です。

(大澤教育長)

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。

大関委員。

(大関委員)

自分の家に受験生がいます。コロナがこれだけ流行してきているので、受験のときにどのような対応を取るのか、多分決まっているかと思いますが、そういうところを教えていただきたい。一生懸命頑張ってきて、本人が感染してしまう場合もありますが、濃厚接触者とかで受験に行けないというときはどうするのかという疑問がありますので、そこだけ教えていただきたい。

(大澤教育長)

小島課長。

(学校教育課長)

コロナが広がっている中で、県の教育委員会から、入試に関しての感染対策、それから受験生自身が入試に臨むに際して、ご自身の状況、周りの状況でどのように対応していくかは昨年度以上に細かく指示が出ております。教育委員会も毎週感染したお子さんや濃厚接触者の人数を報告するように求められています。これから受験日に向けて、そうしたところを県としてもまとめながら整理していこうと思っています。

具体的な試験への対応に関しましては、丁寧な対応をしていくというところを打ち出しています。それぞれの個別の対応にはなってきますけども、別室受験であるとか、それから、追試験、そうしたものを例年以上にきめ細やかに取るようにして、受験生に不利にならないように気をつけていると聞いております。

進路指導担当で対応しているものですので、100%詳しいことを私の手元にはまとめ切れておりませんが、昨年度以上に細かな対応の指示が県から出ているということは聞いております。よろしくお願いします。

(大澤教育長)

先週行われた校長会でも中学校の校長先生からそのような話がありましたので、安心して受験できると思います。

他によろしいですか。

布谷委員。

(布谷委員)

寒川の子どもたちの学力保障を考えたときに、先だっでの全国学力調査の結果がすごく上向きで、とても良い方向に行っているということでした。すごく良い、喜ばしいことと思っています。先ほどからタブレットの話がありますが、家庭と連携して子どもたちの学力をつけていくには、タブレットを持ち帰るのはなるべく早くというお話がありましたが、将来的に大体いつ頃をめどに家庭へ持って帰らせるというのがありますか。タブレットの活用をスムーズにさせるのには、こちらで大体の予定を家庭に事前に示して、家庭の協力もスムーズに得るような、そういう働きかけが必要だと思いますが、その点についてはいかがですか。

(大澤教育長)

タブレット端末に皆さんすごい期待を寄せていますけれども、タブレットは万能ではございません。あくまでもそれぞれの学校の教育の目的を達成するための1つの手段ですから、対面授業が一番です。いざというときは、委員のおっしゃるとおり、タブレット端末の威力を発揮していきますので、その辺は小島課長から補足させます。

小島課長。

(学校教育課長)

先ほどの私の言葉も足りなかったので申し訳ありませんが、今教育長がおっしゃったように、基本的には対面授業がまずは大事と考えています。今取り組んでいるのは、先ほど教育長が言われたような学級閉鎖とか学年閉鎖といった長期にわたり学校を休まなければいけないような状況で使えるように動いています。

先ほどの大川委員の話にもちょっと関わりますけども、家庭のインターネット環境が整っているかどうかというところが一つ大事なポイントで、それに関しましては、これまで全家庭に対して合計で2回ほど大きく調査をさせていただいたことがあります。特に一番近いところでは、ここでもお話をさせていただきましたが、9月に持ち帰りの実証実験をしたときにご家庭で使えるかどうかということを試していただいています。使えない場合に関しましては、教育委員会で購入してありますモバイルルーターを貸し出して、通信環境の契約に関してはそれぞれのご家庭で結んでいただくことになりますが、そうしたモバイルルーターを活用してWi-Fi環境を整えていただけるような準備はしています。

布谷委員のご質問に答えることになりますが、そうした長期休業、どうしても感染の関係で学びが学校ではできなくなった場合について対応できるように準備ができています。対面授業ができていうちは基本的には対面授業優先で、先ほどのような感染によって長期にわたって学校に来られない状況になりましたら、そこでタブレットを活用していこうと考えています。準備は整っていますので、その状況が生まれたときに速やかに家庭に連絡していけるようにしていきたいと思っています。

(大澤教育長)

タブレット端末にはタブレット端末ですごく良いところもありますから、有効に活用していくということが大事であると思っております。よろしくお願いいたします。

(布谷委員)

備えあれば憂いなしということです。備えはしておいて、いざというときにスムーズにということをお願いします。

(大澤教育長)

英語教育とかはよろしいですか。

(小川委員)

その他のところであるので、そこで発言するものと思っていました。

(大澤教育長)

外国語教育についてもしあれば。担当の黄木専任主幹もいます。

(大川委員)

よく頑張ってくれている、いいなと思っています。

(布谷委員)

今の子どもたちが羨ましい。

(小川委員)

本当です。そう思います。

(大澤教育長)

この後、TOKYO GLOBAL GATEWAY についてもありますので、そこでまた意見等を出していただければと思います。

他にありますか。

小川委員。

(小川委員)

コロナに関係することになりますけれども、スポーツ庁が、年末の24日に男子の体力が過去最低であったと発表しました。子どもたちの体力が本当に落ちてしまって、これは明らかにコロナで長期休業があったり、放課後、一緒に友達となかなか遊びに出るということができなかつたりということが影響していると思います。今この時期、こもって感染予防ばかりをせずに、体力をつけるということも重症化しない1つの大きな方法だと思います。教育長も先月、とにかく子どもは元気が一番、そうでないといけない、それがまず大事だとおっしゃいましたけど、本当にそのとおりです。その記事が気になったのは、この間秋の運動会で小学校を回らせてもらったときに、私の感じ方なのか、少し体格のいい子が今まで以上に多かったような気がしました。走るのが苦手そうだと思われるような、走り慣れていない、靴もよくぬげて落とし、普段から走り慣れていないということと、それから、少し体形的に運動しづらいというお子さんが目立ちました。それで、このスポーツ庁の記事が非常に気になりました。体育の授業でもドッジボールとかサッカーとか、ボールをやり取りしたり、接触したりという運動は控えざみになると思います。

それから、子どもたちは、運動会もそうでしたが、多分マスクを外してもいいということになっていると思います。先生が走る前に選手の子たちに「外さなくていいの」と聞いているところを見ましたので、恐らくそれを自分で外してもいいし、つけていてもいいのかもしれませんが、習慣的につけている子が多かったです。そうすると先生方も、つけているのにそんなに過激な運動はさせられないから、休憩を挟んだり、いつもよりも緩くしたりということが続いてこういうふうになっていると思います。

ですから、接触をしなくてもやりがいのあるような、楽しくできるような仕掛けというのですか、外の空気に触れて、歩くとか走るとか、例えば、富士山登山の何合目まで歩きましたとか、そういう自分一人で記録を伸ばすことが楽しくなるようなことを目指してもらえるように積極的に休み時間に外に行って体を動かすことをしているところがあつたらいいと思いました。これは提案です。

本当に体力というのは受験でも何でも一番大事なことだと思いますので、その辺のところ、寒川の子どもたちの体力はどうかと気になりました。

(大澤教育長)

昨日は寒川町の健康マラソン大会がありました。中学生は土日、地区での部活は全面中止ということで、中学生の参加はありませんでした。今のオミクロン株は大体正体が見えてきておりますけれども、東京都を見ると10代以下の子どもの感染が大分増えてきているというのもありますので、油断はできないということもあって、なかなか思い切り体を動かすことができない状況があります。

体力をつけるというのは学校においてだけではないです。学力もそうです。何でも学校にお任せではなくて、家庭でも意図的に体を動かす場というのを考えなくてはいけないでしょうし、学校でもこういうことにもしっかり取り組んでいく必要があると思っております。

他によろしいですか。

それでは、以上で私の報告を終わります。

5. 社会教育施設報告

(大澤教育長)

それでは、続いて、社会教育施設の公民館、総合図書館からの報告をお願いします。

まずは公民館からお願いします。

別府町民センター館長。

(町民センター館長)

それでは、公民館から報告させていただきます。

初めに、12月に実施しました主な事業についてご報告いたします。

町民センターの다가しや楽校は、新型コロナウイルス感染症対策で実施を見送った昨年を除き、今年で4回目の実施でした。コロナ禍での申込制ではないイベントにどれほど来場者があるのかとの不安を抱えての実施でしたが、これまでで最も多い123名の来場者があり、出店者を含めて150名の参加者となりました。折り紙、ディンプルアート、伊勢型紙などのものづくり体験のほか、ハンドベルの演奏もあり、今年から新たに加わった大人も乗れるミニSL体験が人気を集めていました。今回は出店数を絞っての開催でしたが、次回はさらに多彩な内容で、感染症対策に十分配慮して実施していきます。

新規事業、寄せ植え講座は、寒川町宮山の生花店、千秋園さんの協力を得て、同店のテラスで実施し、講師も同店の原静華さんをお願いしました。参加者は全員女性で10名、40代、50代からそれぞれ2名の参加がありました。参加者からは、花の種類ごとの手入れ方法が聞けてよかった、好きな色の花を自

分で選ぶことができよかったなどの感想が寄せられました。今回はクリスマス用の寄せ植え作りでしたが、次回は別の季節での開催とし、参加者の年齢層をさらに広げていきたいと思います。

歴史講座「人間・景時」は、多賀歴史研究所代表の多賀譲治さんを講師に迎え、今年の大河ドラマに登場する寒川ゆかりの鎌倉幕府草創期の重臣、梶原景時にスポットを当て、景時の足跡と人となりについて学びました。定員を超える44名の参加がありました。平安期から鎌倉期へ移行する歴史の流れを知るには意義深い内容でしたが、景時自身にまつわる話が思ったよりも少なく、景時について詳しく知りたいと思った参加者には少し物足りない内容でありました。アンケートに景時シリーズで2回、3回続けてほしいとの意見もあり、令和4年度も梶原景時に関する事業を計画していきます。

表の最後、神奈川県民ホールとの共催事業、ワークショップコンサート「カルメン」も定員を超える108名の参加がありました。定員数だけを見ると、ホールを使ったコンサートとしては多くありませんが、工作、ダンス、音楽の3つのワークショップと舞台見学による構成で、客席にはサポートスタッフも配置され、体験型のコンサートとしては適当な定員数でした。参加者親子はワークショップで作ったカスタネットを使って闘牛士のエスカミーリョに扮したダンサーと一緒に踊り、ピアノとフルートによる「カルメン」の名曲を楽しんでいました。県民ホールからは共催事業継続の内諾を得ており、来年度以降も町民の方々によりよい公演を提供できるよう、連携を図っていきます。

資料2ページ目、北部公民館の爽やかパステルアート教室は、緊急事態宣言のため、7月から延期して実施しました。延期により参加者数は減りましたが、親子参加が1組ありました。連続講座としたことでパステルアートに対する理解や関心を深めることができ、今後はサークル化も視野に入れて内容の充実を図っていききたいと思います。

表の4番目、生涯学習推進員事業、お飾り作り教室は、自分の手で新年のお飾りを作りたいと望む方が毎年申し込まれ、今年は約半数がリピーターの参加者でした。毎回生涯学習推進員の方々と事前に講習会を行い、講師とともに参加者たちに作り方の指導を行っています。今年の参加者からは、お飾りを自分で作ることができてとても満足している、オンリーワンのお飾りができてうれしいなどの感想がありました。

資料の3ページ目、南部公民館の表の5番目です。子ども運動教室も、緊急事態宣言のため、8月から延期して実施しました。小学生の体力向上のための講座を毎年、健康運動指導士の織田敦さんをお願いしていますが、今回はボールを使った運動を行いました。低学年の参加者には少し難しい面もあったため、体力向上の講座についても内容により対象学年をより明確にする必要があると感じました。

続きまして、資料の4ページ目、2月の主な事業予定についてご報告いたします。

町民センターの「東日本大震災から学ぶべきことー震災10年の現状と課題

ー」は新規事業の表示が抜けておりました。申し訳ございません。訂正させていただきます。この事業は、昨年３月と９月の二度にわたり緊急事態宣言により中止となったものです。講師は震災当時に現地で取材に当たった朝日新聞社の青木美希さんです。

関連企画として、宮城県の協力による写真パネル展「東日本大震災３・１１を語り継ぐ」を２月１１日から講演会当日まで町民センターロビーで開催します。

北部公民館の新規事業「役に立つサポート技術を覚えよう」も緊急事態宣言により昨年２月に中止となったもので、町社会福祉協議会登録の２団体に講師をお願いし、車椅子の扱い方と手話の基本について学びます。

南部公民館の子ども樹脂粘土教室は、おはなし広場と併せて実施します。
公民館からの報告は以上でございます。

(大澤教育長)

ありがとうございました。

公民館から報告、７事業について、それから、事業予定について報告等がございました。何か質問・意見等ございませんか。感想でも構いません。

大川委員。

(大川委員)

感想になります。だがしや楽校ですけども、これは親子で楽しむ様子が見られたとあります。とても良いことだと思っています。科学実験ですけども、家族で楽しめる状況はすごいことだと思っています。こういうことを私たちもよく経験しました。学校の先生が生徒を連れて参加というのはあります。しかし、親子で参加するというケースは少ないです。それで参加してくれるというのはとてもすばらしいことだと思います。

これからもいろいろな年齢層を呼び込むことができるよう、さまざまな実践もよろしくお願ひしたいと思います。もう一つは、サークル化をサポートするような講座を幾つかやったださっています。動きのある活動が今年は増えてきて、まだまだ今後たくさんあると思いますけれども、とてもいい動きが出始めていると思っています。とはいえ、相手がある事業ですので、あまり無理せずに進めていただけたらと思います。

以上です。

(大澤教育長)

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

大関委員。

(大関委員)

感想になりますけれども、人が集まる行事に人が飢えてきているという感じがありまして、人が集まるものに参加したいという意欲がすごく出てきているという感じが見て取れました。コロナが落ち着いてから、より一層人が集まる事業をしていただくと良いと思いながら聞いておりました。これはあくまでも感想です。

(大澤教育長)

ありがとうございます。

他にはどうですか。

布谷委員。

(布谷委員)

お正月準備講座は中学生以上となっていましたけれども、参加者の内訳とかが分かったら教えていただきたい。

(町民センター館長)

対象は中学生以上となっていますが、残念ながら学生さんの参加は今年ございませんでした。成人の方、ほとんどが女性の方でございました。

(布谷委員)

今の子どもたち、子どもというか、中学生の子たちにもこういうしきたりに興味を持っていただけると良い企画かなと思いました。

(町民センター館長)

学生さんにも次年度は参加していただけるように周知を進めていきたいと思えます。

(大澤教育長)

小川委員。

(小川委員)

12月18日に開催された神奈川県民ホールとの共催公演「カルメン」に、親子さんばかりのところに私が行かせていただいて、どうもありがとうございました。とても楽しく拝見させていただきました。大人の方にはなじみがすごくある曲ばかりでしたし、子どももこれから生きていく上で何回も聞くだらうと思われるビゼーの「カルメン」の有名な曲でストーリー仕立てになっていたのも、大変受け入れやすいような感じでした。中学校になると、教科書にオペラというのは音楽とダンスと舞台芸術の、3つの芸術の総合ですというように習うのですが、それがすごく分かりやすく、音楽だったりダンスだったり舞台の美しさだったり、そういうものが自然に感じられました、そういう意味では

すごく工夫されていたと思います。

いつか子どもたちが大きくなって、大がかりなオペラを見に行くにしても、かしこまった感じもしないで、こういうところで見ていると、オペラに関しても親しみが非常に湧くでしょうし、また、音楽以外でも、舞台芸術であったりダンスであったりという、いろんな分野の芸術にも興味が今後持っていけると思いました。

そして、この資料にもありますけれども、「子どもたちの記憶に残るものであった」と書いてあります。私も本当にそのとおりだと思いました。赤の布で飾られた舞台を見て、日頃私もお借りしている舞台ですけれども、布だけでこのようなオペラはすごいです。木を作ったり建物を作ったり、ものすごくお金のかかるステージですけれども、布の工夫だけであんなに華やかな、そういう世界観がつかれるというのが目からうろこでした。布だけでもこんなにできるということです。そこに子どもたちにも上がらせて、ご覧になってくださいみたいな感じで参加させてもらっていたので、非常に印象に残る一日だったと思います。これからも楽しみにしております。ありがとうございました。

もう1点ですけれども、南部公民館の冬休み子ども運動教室、本当にありがたいと思います。専門の健康運動指導士という方が指導してくださったということで、学校だけではやりきれないことをこういうところでフォローしていただければありがたいです。子どもたちは、運動とかスポーツを通して人間関係を学んでいきますし、身体を動かすことが楽しいと思うと将来の健康維持にも後々つながっていくことなので、ぜひ機会があったら、楽しく運動させていたきたいと思いました。

以上です。ありがとうございました。

(町民センター館長)

ありがとうございました。

(大澤教育長)

他にはよろしいですか。

今月は町民センターの7事業について報告がございました。これまでは全ての事業について報告がありましたが、大分絞られてきたと思います。恐らく来月は3つぐらいの事業についてより深く掘り下げた内容になってくるのではないかと考えております。事業を実施した成果とか課題、あるいは参加者の意見も参考に次年度どうしていくのか、そういったことについてもまた報告していただけると、教育委員さん方もいろんな意見が出てくるのではないかと思いますので、またよろしくお願いします。

では、総合図書館、よろしくお願いします。

岩渕総合図書館長。

(総合図書館長)

では、図書館の12月の報告をいたします。

まずは利用状況ですけれども、1ページ目、貸出件数、来館者数についてご説明いたします。寒川総合図書館、南北分室ともに24日開館しましたけれども、来館者数は合計約1万8,000人となっております。2020年度の12月と比べますと、99.5%の回復となっております。貸出件数につきまして、合計は約2万4,000点、こちらも2020年度と比べますと101.1%と回復となっております。登録者数が1日平均5人登録されておりまして、先月11月とほぼ同等となっております。

1ページ目の説明については以上となります。

続きまして、2ページ目、12月の図書館の実績についてご説明いたします。展示について1つとおはなし会について2つ説明したいと思います。

まず、展示ですけれども、上のところのその他の中に入っている「異世界&ファンタジー」を12月5日から行っています。現在YA向けの小説やメディア、それから、テレビアニメなどで現代人が異世界に転生して冒険をするというものが増えてきておりまして、それを踏まえてこの展示を企画しました。中高生向けにももちろんご覧になっておりますけれども、大人の方にも好評で、先日は20代後半の男性と思われる方、あまり図書館にいらっしゃらないよう方もこちらの本を手にとってご覧になっている姿が見られました。

続きまして、おはなし会のご説明をいたします。おはなし会、通常のおはなし会のほかクリスマススペシャルおはなし会、図書館のぬいぐるみおとまり会というものを行いました。

クリスマススペシャルおはなし会では、普段と違って待ち時間の間にクリスマスの音楽をかけて雰囲気盛り上げることをいたしました。クリスマスにちなんだ演目を5つ行いましたけれども、最後に行った参加型の紙芝居ではスタッフの問いかけに関して元気よく答えてくださっている子どもたちが見られました。また、兄弟でサンタクロースの格好をした子どもさんもいらっしゃったりして、思い思いに楽しんでいる様子が見られました。

それから、図書館のぬいぐるみおとまり会では5名の参加がありました。ぬいぐるみを図書館が預かって寝かしつける際には、タウンニュースの方の取材も入りまして、写真を撮る際には子どもたちが笑顔で写っているということもございました。また、ぬいぐるみの様子をSNSで、写真を撮影しましたけれども、当日フォローをしてくださった方がおられました。翌日ぬいぐるみを引き取りに来たときには図書館のぬいぐるみの様子を写したアルバムをお渡しして、それについてとても喜んでくださいました。親御様のアンケートにいろいろ書いていただいたのですが、プレゼントがもらえるのはうれしかったですとか、とてもすてきなアイデアだと思います、子どものぬいぐるみに対する感情が変化すると思います、優しくしたり、お話したりというものが増えると思いますという好意的なご意見をいただきました。

そのほかの事業実績についてはこちらの一覧をご覧ください。

1月の事業実績の説明に参ります。1月については、展示について2点説明

いたします。

企画展示室で行う「地球で生きる動物を知ろう！」と題した展示ですけれども、こちらは地球の環境問題を取り上げて、人と動物がともにどのように生きていくかというものについて本を集めております。また、コロナ禍でペットを飼う人たち、ペットに関心を持つ人たちが増えている一方、飼えなくなって捨てるというニュースがございます。これについても取り上げ、動物に関する正しい知識と動物愛護の心を育める資料を展示していきたいと考えております。

それから、展示のその他のところがございます「梶原景時と鎌倉幕府」、こちらは企画展示室通路前で行っておりますけれども、大河ドラマの中で大きく、まだ出てきてはいないですけれども、寒川ゆかりの人物ということで、寒川の観光協会様からものぼり旗をお借りしたり、リーフレットをいただいたりして、本と一緒に展示しております。まだまだ資料が少ないですけれども、今後も随時図書を増やしていきたいと考えております。

図書館については以上となります。

(大澤教育長)

ありがとうございました。随分すっきりと整理して報告していただきました。

ただいまの報告内容、報告以外のところでも構いません。何か質問等あったら、お願いします。

大川委員。

(大川委員)

「梶原景時と鎌倉幕府」の展示ですが、テレビの放映にちょうど時期を合わせて良かったと思っています。今、館長からもありましたけれども、せっかく大河ドラマであるようにやっていますので、NHKに頼んで、できるだけ大きな写真とかポスターをたくさんもらって、それも提示してもらえると、歴史に興味を持つ人がまた増えるかなと思いました。

以上です。

(総合図書館長)

検討いたします。ありがとうございます。

(大澤教育長)

NHKはそういう要望を全国各地からいただいていると思いますので、なかなか難しいのではないのでしょうか。

(大川委員)

肖像権の問題があるから、難しいと思いますけれども。

(大澤教育長)

「梶原景時と鎌倉幕府」はどこで展示しているのですか。

(総合図書館長)

企画展示室という展示室がありますが、その手前の通路に展示しています。

(大澤教育長)

通路にですね。

(総合図書館長)

よく小説とかが置いてある書架がありますけども、その近くに置いてございます。

(大澤教育長)

では、近々行って見させてもらいます。

他にいかがでしょうか。

布谷委員。

(布谷委員)

感想です。ぬいぐるみといっしょのおはなし会、おとまり会というのに心を奪われましたが、すごく夢のある企画だと思います。初めての催しですか、毎年やられているのですか。

(総合図書館長)

コロナのときにはできませんでしたが、前回、2019年度に行っているものです。

(布谷委員)

すごく夢があって、夜の図書館での様子を載せた記念アルバムというのは、どんな感じなものですか。

(総合図書館長)

お預かりした後、開館中にはフロアには行けませんので、図書館の事務室などでぬいぐるみも一緒にお仕事をしている様子を写真に撮って、それをアップしたりとか、図書館が閉館しましたら、お客様がいらっしゃらないので、児童のフロアにぬいぐるみを連れて行きまして、ぬいぐるみが読んでいる様子とか、あとは図書館の外の様子を見たりとか、この時期ですとクリスマスツリーを図書館の中に飾っていましたので、クリスマスツリーの下でみんなで記念撮影をしたものを、アップを急いで印刷してアルバムにしたというものです。

(布谷委員)

子どもたちの思い出に残る、豊かな心を育てるのにすごく良い企画であると思いました。

以上です。

(大澤教育長)

よろしいですか。

(布谷委員)

はい。

(大澤教育長)

特別参加してみたらどうですか。

(布谷委員)

何かスタッフでお手伝いできることがあれば、写真を撮ったりして、おもしろそうです。

(大澤教育長)

他にいかがでしょうか。

小川委員。

(小川委員)

今の布谷委員のお話と同じですが、本当にこのぬいぐるみのおとまり会は、ぬいぐるみが選んだ絵本を貸し出したというところも、持ってきたお子さんをイメージしてというか、そのぬいぐるみをイメージして選んでさしあげたのですか。

(総合図書館長)

参加されるときに、事前にどういったものが好きとかをご家族の方に調査します。このお子さんは何が好きか、動物が好き、動物の中でも熊が好きという、熊に関する絵本を選びます。子どもたちが持ってきたぬいぐるみというのはお友達ですので、お友達が選んだ本という設定で気に入ってくれるだろうというのを厳選して貸出しをしております。

(小川委員)

ありがとうございます。何かますます本に親しみが湧きそうな企画で、すばらしいと思いました。

そして、としょかん宝くじもそうですけれども、いろいろ仕掛けをしてくださって、大人も楽しいと思いました。これは付録の景品を宝くじにということ

ですね。

(総合図書館長)

コロナになるまでは図書館まつりというものを図書館で行っていきまして、そのときにビンゴゲームをしておりました。ビンゴの景品として雑誌の付録というものを差し上げていましたが、2020年度は全くできませんでした。今回2020年度、2021年度の付録が大量に残ってしまったので、そこで本をお借りした人にくじをお渡しして、まず、そのくじを男性向けの付録の箱、女性向けの付録の箱、子ども向けの付録の箱と3つ作りまして、この木のところに入れていただく。入れていただいた後にスタッフが抽せんをして、その番号を貼り出して、取りに来ていただきました。

(小川委員)

貼り出してですか、ありがとうございます。図書館に通うのが楽しくなりますね。またそういう仕掛けも工夫してくださっていますけれども、地球の環境問題でありますとか、ペットを安易に飼わないということも今、社会問題の1つとなっていますので、そういった社会の今の問題というのを掲示していただいて、すごく工夫されていると思いました。ありがとうございます。

以上です。

(大澤教育長)

他によろしいですか。

大関委員。

(大関委員)

見ていますと、家でいる時間で何かやるようなことを多く借りたりしていると思っております。特に家で食事を作るのが大変です。食事管理の、食材に関する本の貸出数がものすごく多いので、もしかしたら2月ぐらいにやると、今度は春休みに作るようなものを考えられると思いますので、そういうのをうまく利用していただきたいと思います。

(総合図書館長)

はい。

(大澤教育長)

他によろしいですか。

今日もこの実績の内容を絞られた形で報告しておりますけども、このような形で出されますと、教育委員さん方もいろいろ感想や意見等を出しやすくなりますので、今後もぜひこのような方向でよろしくお願いしたいと思います。

他によろしいですか。

発言がないようですので、これで社会教育施設報告を終わります。
両館長、ここでご退席ください。

<両館長退席>

6. 委員報告

(大澤教育長)

それでは、次に、委員報告です。教育委員会を代表して出席等していただいた会議等の報告があればお願いします。今月は特にはないですか。

<「ありません」の声>

(大澤教育長)

特にはないので、委員報告を終わります。

7. 議 事

(大澤教育長)

次に、議事に入りますが、本日案件はございません。

8. 協 議

(大澤教育長)

次の協議についても、本日案件はございません。

9. その他

(大澤教育長)

次に、その他です。本日は事務局から1件報告がございます。

それでは、TOKYO GLOBAL GATEWAY 公募バスツアーの進捗について事務局から報告をお願いします。

黄木専任主幹。

(教育政策課兼学校教育課専任主幹)

それでは、12月1日から12月28日までの応募期間が終了しまして、体験型英語施設 TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京都英語村）公募バスツアーについての進捗状況をご報告いたします。資料番号3番の資料をご覧ください。

今回応募に当たりましては、初めての取組ということでございまして、インターネットを通じた、より応募しやすい環境を整えるとともに、広報、すきっ

ぶに加えてLINEやfacebookなどのSNSを通じた周知を心がけました。

また、応募状況を見ながら、学校の協力も得ながら、チラシの2枚目になりますが、こちらのチラシの作り方についての専門書を見ながら、効果的なチラシをできる限りということで作成させていただき、おかげをもちまして、72名の定員のところ96名応募がございました。よって、このたび別途抽せん要項に基づきまして抽せんを行ったところでございます。

抽せんに当たりましては、対象が小学6年生までということでございますので、小学6年生については優先的に当選という形で行いました。ただし、3名につきましては兄弟関係全員当選のみ参加を希望するということでございまして、他の学年について抽せんしたところ、その3名については残念ながら落選ということになってございます。そのほか各学年に応じまして、できる限り同様の倍率になるような形で、要項に基づいて抽せんを行いました。

5番の実施方法の3つ目の丸になりますが、事前オリエンテーションを当日の前には行ってまいりたいと思います。これにはFLTも参加していただきながら、当日の詳細な説明、グルーピング、意識の高揚等を図ってまいりたいと思います。

また、当日は貸切バス2台で参りたいと思っております。

引率につきましては、教職員・町職員というところで15名、それと保護者についてもボランティアということで8名応募しておりますので、そちらも引率ということになります。

3枚目、午前・午後各1つずつプログラムを行いますが、3枚目の裏面にございます内容、上段の右上になりますが、2階のエリアでアトラクション・エリアとありますが、こちらはエアポートゾーン、ホテルゾーン、トラベルゾーンといった、日常的ないろいろな場面を模した空間の中でその場に応じた英語会話を体験できる。また、もう一つのプログラムは3階のエリア、左下になりますが、アクティブイマージョン・エリアというところで、テーマに基づいた英語体験、例えば、ダンスパフォーマンスを英語を通じて創作するですとか、サバイバル術について英語で学習するですとか、コマ撮り映像を英語で説明を受けながら作成していくといったことを行ってまいります。

資料1枚目に戻りまして、丸の5つ目になりますが、当日教育政策課4名とともに広報戦略課2名が取材に同行いたします。

1枚目裏面に行きまして、当日の後また事後オリエンテーションというものを実施予定でございます。やりっ放しにならず、子どもたちに体験の成果について意識付け、また意欲向上につなげるような形で行ってまいりたいと思います。

また、最近のコロナ感染に関わってでございますが、今後は感染の拡大があった場合については、実施の可否についても様々判断していかなければいけません。こちらの体験施設では新型コロナウイルス感染症に関する対策も非常に万全の態勢で行っているというところです。ただ、どうしても感染の拡大の影響がある場合は、そういった部分でキャンセルということも考えられなくは

ないということで、キャンセル料につきましては、今年度この施設で新型コロナウイルス感染症という特別な事情があるということで、キャンセル料は発生しないという確認を得ているところです。バスについては、緊急事態宣言が発せられる場合のみ特別の事情としてキャンセル料が発生しないということで、2週間前まではキャンセル料はかからないということで、こういった日程も考えながら判断していかなければいけないと思ってございます。

実施の日程については10番で記載されているとおりでございます。

以上、進捗状況をご報告申し上げます。

(大澤教育長)

ありがとうございました。

ただいまの報告で何か質問等ありませんか。

小川委員。

(小川委員)

コロナの感染を見ると判断の難しいことだと思いますが、ぜひ行けることを願っております。

実はこのTOKYO GLOBAL GATEWAYへ行ったことがないですが、英語を学ぶところではなくて、すごく使うところだと聞いていまして、また、エアポートだったりホテルだったり、それから、町並みも海外を意識した町並みが作ってあるということを資料で見たことがあるので、ぜひ体験してもらいたいのと、この事後オリエンテーションのところが一番後で伺いたいなと思ったところで、子どもたちがどう感じたか、これからどういうふうにしたいかとか、そういったことが聞けたらうれしいと思っています。

以上です。

(大澤教育長)

ありがとうございました。

他にいかがですか。

布谷委員。

(布谷委員)

ぜひ行ってみたいと思いました。機会があつたら、私たちも一緒できるようなものをいただけるとありがたい。

(大澤教育長)

黄木専任主幹。

(教育政策課兼学校教育課専任主幹)

実は参加予定人員の教職員・町職員15名となっておりますが、こちら先ほ

どの教育政策課４名と広報戦略課２名ということは確定していますが、そのほかについては、今外国語推進リーダー研究会の先生方にもお声かけはしておりますが、数名は余裕がございますので、この機会にもしご都合が合うのであれば同行いただいても差し支えはございません。その場合は見学していただければと思っておりますので、その際にはお声かけいただければと思います。

(大澤教育長)

他にいかがでしょうか。F L Tの個人参加はないですか。
黄木専任主幹。

(教育政策課兼学校教育課専任主幹)

F L Tも外国語教育推進リーダー研究会の一員でございますので、こちらでお声かけはしてあります。F L Tも今ぜひ参加したい、参加というか、引率したいというご要望もお聞きしております。何名かは来られるかなと思っております。

(大澤教育長)

他にいかがでしょうか。
大川委員、どうですか。

(大川委員)

私も行きたいですが、このときはちょうど地域で引継会があって行けません。こういうことは、子どもに限りませんけども、経験して、体験して初めてその良さが分かっていくというか、自分たちの寒川の良さも分かっていくという、そういう両方を兼ね備えているので、ぜひ事前・事後も大事にしたいので、子どもたちを指導していただけたらと思います。
以上です。

(大澤教育長)

黄木専任主幹。

(教育政策課兼学校教育課専任主幹)

度々、恐れ入ります。今大川委員のお話がありましたが、この体験した子どもたちにその後も活躍していただけるような、そういったことを願っております。そこにおいては事後オリエンテーションにおいて認証書という形で、子どもたちにさむかわイングリッシュジュニアリーダーという形で認証しまして、それぞれ学校等でまた経験したお子さんということで活躍していただくという、そういった子を核にしながら全体の外国語教育が充実していけばいいと思っております。
以上でございます。

(大澤教育長)

よろしいですか。

(大川委員)

しっかり考えられていて、いいです。ありがとうございました。

(大澤教育長)

大関委員、何かありますか。

(大関委員)

とてもいいと思っております。うちの次男も参加させればよかったと今考えていたところでございます。

以上です。

(大澤教育長)

そのほかよろしいですか。

外国語教育全般についてでも構いませんが、よろしいですね。

コロナがある程度落ち着いて、予定どおり実施できるといいと思っております。

それでは、特にないようですので、これで TOKYO GLOBAL GATEWAY 公募バスツアーの進捗についての報告を終わります。

10. 閉 会

(大澤教育長)

以上で本日の日程は全て終了しました。

ここで、次回定例会の期日を決めたいと思います。次回は令和4年2月21日月曜日、午後1時30分から、場所は役場東分庁舎第3会議室において開催ということでいかがでしょうか。よろしいですか。

<「はい」の声>

(大澤教育長)

それでは、次回の定例会は2月21日月曜日、午後1時30分から、東分庁舎第3会議室において開催いたします。

これをもちまして寒川町教育委員会1月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。